

「脳卒中」の医療を担う医療機関の公表基準（案）

◎急性期医療

- ①血液検査や画像検査（X線検査、CT、MRI、超音波検査）等の必要な検査が実施可能であること
- ②脳卒中が疑われる患者に対し、専門的治療が実施可能であること（画像伝送等の遠隔診断に基づく治療も含む。）
- ③t-PA 静注療法 of 適応のある脳梗塞症患者に対し、来院後に少しでも早く治療を開始すること（遅くとも来院後1時間以内に治療を開始することが望ましい。）
- ④脳卒中を専門とする医師が常勤していること
- ⑤呼吸、循環、栄養等の全身管理及び感染症や深部静脈血栓症等の合併症に対する診療が可能であること
- ⑥リスク管理のもとに早期座位・立位、関節可動域訓練、摂食・嚥下訓練、装具を用いた早期歩行訓練、セルフケア訓練等のリハビリテーションが実現可能であること
- ⑦回復期（又は維持期・生活期）の医療機関等と診療情報やリハビリテーションを含む治療計画を共有するなどして連携していること
- ⑧脳卒中評価スケールなどを用いた客観的な神経学的評価が実施可能であること（遠隔診断を用いた補助を含む。）【新規】
- ⑨個々の患者の神経症状等の程度に基づき、回復期リハビリテーションの適応を検討できること【新規】
- ⑩脳卒中疑いで救急搬送された患者について、その最終判断を救急隊に情報提供することが望ましい【新規】

◎回復期医療

- ①再発防止の治療（抗血小板療法、抗凝固療法等）、基礎疾患・危険因子の管理及び抑うつ状態や認知症などの脳卒中後の様々な合併症への対応が可能であること
- ②失語、高次脳機能障害（記憶障害、注意障害等）、嚥下障害、歩行障害などの機能障害の改善及びADLの向上を目的とした、理学療法、作業療法、言語聴覚療法等のリハビリテーションが専門医療スタッフにより集中的に実施可能であること
- ③急性期の医療機関及び維持期・生活期の医療機関等と診療情報やリハビリテーションを含む治療計画を共有するなどして連携していること。
- ④再発が疑われる場合には、急性期の医療機関と連携することにより患者の病態を適切に評価すること【新規】

◎維持期医療

- ①生活機能の維持及び向上のためのリハビリテーション（訪問及び通所リハビリテーションを含む。）が実施可能であること
- ②再発予防の治療、基礎疾患・危険因子の管理、抑うつ状態への対応等が可能であること【新規】
- ③回復期又は急性期の医療機関等と診療情報やリハビリテーションを含む治療計画を共有するなどして連携していること【新規】
- ④合併症発症時や脳卒中の再発時に、患者の状態に応じた適切な医療を提供できる医療機関と連携していること【新規】

「脳卒中」の急性期、回復期、維持期医療を担う医療機関一覧（案）

二次医療圏	病院名	脳卒中		
		急性期	回復期	維持期
1	独立行政法人地域医療機能推進機構 京都鞍馬口医療センター	○		
2	社会福祉法人京都社会事業財団 京都からすま病院		○	○
3	社会福祉法人京都博愛会 富田病院		○	○
4	社会福祉法人京都博愛会 京都博愛会病院		○	○
5	京都府立医科大学附属病院	○		
6	京都第二赤十字病院	○		
7	医療法人 相馬病院			○
8	社会医療法人西陣健康会堀川病院		○	○
9	医療法人愛寿会 同仁病院			○
10	医療法人社団行陵会 京都大原記念病院		○	○
11	医療法人清水会 脳神経リハビリ北大路病院		○	
12	京都大学医学部附属病院	○		
13	総合病院日本バプテスト病院		○	○
14	公益社団法人信和会 京都民医連あすかい病院		○	○
15	医療法人社団行陵会 京都近衛リハビリテーション病院		○	
16	医療法人知音会 京都新町病院			○
17	地方独立行政法人京都市立病院機構 京都市立病院	○		
18	医療法人社団洛和会 洛和会丸太町病院		○	○
19	がくさい病院		○	
20	京都第一赤十字病院	○		
21	医療法人社団育生会 京都久野病院		○	○
22	一般社団法人愛生会 山科病院		○	
23	医療法人新生十全会 京都東山老年サナトリウム		○	○
24	医療法人社団洛和会 洛和会音羽リハビリテーション病院		○	○
25	医療法人社団洛和会 洛和会音羽病院	○	○	
26	社会医療法人健康会 京都南病院		○	○
27	京都回生病院		○	○
28	医療法人社団恵心会 京都武田病院		○	○
29	医療法人愛友会 明石病院		○	○
30	武田病院	○	○	
31	公益社団法人京都保健会 吉祥院病院			○
32	京都九条病院	○		
33	独立行政法人国立病院機構 宇多野病院	○	○	○
34	一般財団法人泉谷病院			○
35	京都市立京北病院			○
36	公益社団法人京都保健会 京都民医連中央病院		○	○
37	独立行政法人国立病院機構 京都医療センター	○		
38	医療法人清水会 京都リハビリテーション病院		○	
39	社会医療法人弘仁会 大島病院		○	○
40	社会福祉法人浩照会 伏見桃山総合病院			○
41	蘇生会総合病院	○	○	○
42	医療法人医仁会 武田総合病院	○	○	○
43	医療法人新生十全会 なごみの里病院			○
44	医療法人社団淀さんせん会金井病院		○	○
45	医療法人健幸会むかいじま病院		○	
46	一般財団法人仁風会 京都南西病院			○
47	社会福祉法人京都社会事業財団 京都桂病院	○		
48	医療法人弘正会西京都病院		○	
49	医療法人清仁会 シミズ病院	○	○	○
50	医療法人清仁会洛西ニュータウン病院		○	○
51	医療法人清仁会 洛西シミズ病院		○	○

52	京都・乙訓	乙訓	医療法人真生会向日回生病院		○	○
53			医療法人医修会 新河端病院			○
54			医療法人社団千春会 千春会病院		○	○
55			医療法人総心会 長岡京病院			○
56			社会福祉法人恩賜財団京都府済生会 京都済生会病院	○		
57	山城北	宇治武田病院		○	○	
58		社会福祉法人あじろぎ会 宇治病院		○	○	
59		医療法人社団一心会 都倉病院			○	
60		医療法人徳洲会 宇治徳洲会病院	○	○		
61		医療法人徳洲会 六地藏総合病院	○	○		
62		医療法人晴風園 宇治リハビリテーション病院		○	○	
63		独立行政法人国立病院機構 南京都病院		○	○	
64		医療法人啓信会 京都きづ川病院	○	○		
65		京都府立心身障害者福祉センター 附属リハビリテーション病院		○	○	
66		医療法人八仁会 久御山南病院		○	○	
67		社会医療法人美杉会男山病院		○		
68		医療法人社団医聖会 八幡中央病院		○	○	
69		医療法人芳松会 田辺病院			○	
70		医療法人社団石鎚会 京都田辺中央病院	○	○		
71		医療法人社団石鎚会 同志社山手病院			○	
72		医療法人社団医聖会 京都八幡病院			○	
73		医療法人社団石鎚会 京都田辺記念病院		○	○	
74		京都岡本記念病院	○	○		
75		山城南	京都山城総合医療センター	○	○	
76	医療法人社団医聖会学研都市病院			○	○	
77	南丹	医療法人亀岡病院			○	
78		医療法人清仁会 亀岡シミズ病院	○	○	○	
79		京都中部総合医療センター	○	○		
80		国保京丹波町病院			○	
81		明治国際医療大学付属病院		○		
82		医療法人社団董会園部病院			○	
83	中丹	市立福知山市民病院	○	○		
84		医療法人福富士会 京都ルネス病院		○	○	
85		市立福知山市民病院大江分院			○	
86		医療法人綾富士会 綾部ルネス病院		○	○	
87		公益社団法人京都保健会 京都協立病院		○	○	
88		綾部市立病院			○	
89		独立行政法人国立病院機構 舞鶴医療センター	○			
90		市立舞鶴市民病院			○	
91		舞鶴赤十字病院		○	○	
92	国家公務員共済組合連合会 舞鶴共済病院			○		
93	丹後	宮津武田病院			○	
94		京都府立医科大学附属北部医療センター	○			
95		公益財団法人 丹後中央病院		○	○	
96		京丹後市立弥栄病院		○	○	
97		京丹後市立久美浜病院		○	○	
				27	62	66
現行登録数				25	56	82

「急性心筋梗塞」の医療を担う医療機関の公表基準（案）

◎急性期医療

- ①急性心筋梗塞が疑われる患者について、専門的な診療を行う医師等が 24 時間対応可能であること
- ②日本循環器学会認定研修施設もしくは同研修関連施設の基準を満たしていること
- ③S T 上昇型新梗塞の場合、冠動脈造影検査及び適応があれば PCI を行い、来院後 90 分以内の冠動脈再疎通が実施可能であること
- ④虚血性心疾患に対する冠動脈バイパス術や大動脈解離に対する大動脈人工血管置換術等の外科的治療が可能又は外科的治療が可能な施設との連携がとれていること
- ⑤回復期（又は在宅医療）の医療機関と診療情報や治療計画を共有する等して連携していること。また、その一環として再発防止の定期的専門的検査を実施すること
- ⑥運動耐容能などに基づいた運動処方により合併症を防ぎつつ、運動療法のみならず多面的・包括的なリハビリテーションを実施可能であること【新規】
- ⑦抑うつ状態等の対応が可能であること【新規】
- ⑧電氣的除細動、緊急ペーシングへの対応が可能であること【新規】
- ⑨大動脈内バルーンポンピング（IABP）の対応が可能であること【新規】
- ⑩心電図検査、血液生化学検査、心臓超音波検査、X線検査、CT検査、心臓カテーテル検査等必要な検査及び処置が 24 時間対応可能であること【新規】
- ⑪慢性心不全の急性増悪の場合、状態の安定化に必要な内科的治療が可能であること【新規】

◎回復期医療

- ①日本循環器学会認定循環器専門医が常勤していること
- ②運動耐容能を評価し上で、運動療法、食事療法、患者教育等の心血管疾患リハビリテーションが実施可能であること
- ③急性期の医療機関及び二次予防の医療機関と診療情報や治療計画を共有する等して連携していること
- ④心筋梗塞等の心血管疾患の再発や重症不整脈などの発生時における対処法について、患者及び家族等への教育を行っていること【新規】
- ⑤合併症併発時や再発時に緊急に内科的・外科的治療が可能な医療機関と連携していること【新規】
- ⑥再発予防の治療や基礎疾患、危険因子の管理、抑うつ状態等の対応等が可能であること【新規】
- ⑦心電図検査、電氣的除細動等急性増悪時の対応が可能であること【新規】

「急性心筋梗塞」の急性期、回復期医療を担う医療機関一覧（案）

二次医療圏		病院名	急性心筋梗塞	
			急性期	回復期
京都・乙訓	北	独立行政法人地域医療機能推進機構 京都鞍馬口医療センター	○	
		社会福祉法人京都博愛会 富田病院		○
	上京	京都府立医科大学附属病院	○	○
		京都第二赤十字病院	○	
		西陣病院	○	○
	左京	京都大学医学部附属病院	○	○
		総合病院日本パプテスト病院		○
	中京	地方独立行政法人京都市立病院機構 京都市立病院	○	○
		医療法人社団洛和会 洛和会丸太町病院	○	○
	東山	京都第一赤十字病院	○	
	山科	医療法人社団洛和会 洛和会音羽病院	○	○
	下京	社会医療法人健康会 京都南病院		○
		武田病院	○	○
	南	京都九条病院	○	○
	右京	公益社団法人京都保健会 京都民医連中央病院		○
	伏見	独立行政法人国立病院機構 京都医療センター	○	
		社会医療法人弘仁会 大島病院		○
		蘇生会総合病院	○	○
		医療法人医仁会 武田総合病院	○	○
	西京	三菱京都病院	○	○
		社会福祉法人京都社会事業財団 京都桂病院	○	
		医療法人清仁会洛西ニュータウン病院	○	○
	乙訓	社会福祉法人恩賜財団京都府済生会 京都済生会病院	○	
山城北	社会福祉法人あじろぎ会 宇治病院		○	
	医療法人徳洲会 宇治徳洲会病院	○	○	
	医療法人啓信会 京都きづ川病院	○	○	
	医療法人社団医聖会 八幡中央病院		○	
	医療法人社団石鎚会 京都田辺中央病院	○	○	
	京都岡本記念病院	○	○	
山城南	京都山城総合医療センター	○	○	
南丹	京都中部総合医療センター	○	○	
中丹	市立福知山市民病院	○	○	
	医療法人福富士会 京都ルネス病院	○	○	
	綾部市立病院	○	○	
	国家公務員共済組合連合会 舞鶴共済病院	○	○	
丹後	京都府立医科大学附属北部医療センター	○	○	
	京丹後市立弥栄病院	○		
			30	30
現行登録数			30	28

「脳卒中」及び「急性心筋梗塞」の医療を担う医療機関の推奨項目（案）
（次回計画改定時に達成していることが望ましい項目）

◎「脳卒中」の急性期医療を担う医療機関

- ①t-PA 静注療法や機械的血栓回収療法、外科手術等の治療を実施できない医療機関においては、日本脳卒中学会が提言している「脳卒中診療における遠隔医療 (Telestroke)」など、デジタル技術を活用した診療を行うことで、治療が実施可能な医療機関と連携をとり、転院搬送など適切な対応を検討すること
- ②症状の重症度と画像所見に基づき、脳梗塞患者に対する機械的血栓回収療法の適応を検討し、適応がある患者に対しては速やかに治療を開始すること
- ③合併症の中でも、特に誤嚥性肺炎の予防のために、口腔管理を実施する病院内の歯科や歯科医療機関等を含め、多職種間で連携を図ること

◎「脳卒中」の回復期医療を担う医療機関

- ①回復期リハビリテーション病棟、又は脳血管疾患リハビリテーションⅠ若しくはⅡの届出医療機関であること（当面の間、理学療法士（PT）、作業療法士（OT）、言語聴覚士（ST）の人数が合わせて4人以上いること）
- ②重篤な神経機能障害・精神機能障害等を生じた患者であっても、急性期病院からの受入れが可能となるよう、回復期の医療提供体制を強化すること
- ③合併症の中でも、特に誤嚥性肺炎の予防のために、口腔管理を実施する病院内の歯科や歯科医療機関を含め、多職種間で連携して対策を図ること

◎「脳卒中」の維持期医療を担う医療機関

- ①合併症の中でも、特に誤嚥性肺炎の予防のために、口腔管理を実施する病院内の歯科や歯科医療機関等を含め、多職種間で連携して対策を図ること
- ②介護支援専門員が、自立生活又は在宅療養を支援するための居宅介護サービスを調整すること
- ③担当の両立支援コーディネーターを配置し、産業医などの治療と仕事の両立支援に係る人材と連携し、脳卒中患者の就労支援を推進させ、生活の質の向上を目指すこと

◎「急性心筋梗塞」の急性期医療を担う医療機関

- ①呼吸管理、疼痛管理等の全身管理やポンプ失調、心破裂等の合併症治療が可能であること

◎「急性心筋梗塞」の回復期医療を担う医療機関

- ①心大血管疾患リハビリテーションⅠ又はⅡ若しくは脳血管疾患等リハビリテーションⅠ又はⅡの届出医療機関であること
- ②担当の両立支援コーディネーターを配置し、産業医などの治療と仕事の両立支援に係る人材と連携し、心血管疾患患者の就労支援を推進させ、生活の質の向上を目指すこと